

あさの読書のじかん、先生が「へいわってどんなこと？」という本を読んでもくれました。  
先生が

「へいわって何。」

と、聞くと、はやとさんが、

「しつもんがむずかしいなあ。」

と、言いました。つぎに、りんさんが、

「けんかをしたくないことだと思えます。」

と、こたえました。わたしは、へいわという言葉のいみがまだよくわかりませんでした。

でも、本の中に、へいわのときは、大すきなかぞくやともだちとそばにいられる、学校に行ける、おいしいものがたべられる、ぐつすりねむられる、ということが書かれていました。

せんそうをすると、人がころされたり、ころしたりしてこわいです。学校に行けません。ともだちとあそべません。学しゅうもできません。かぞくとはなれるかもしれない。いやなことばかりです。

わたしは、へいわにするために、学きゅう目ひようを思い出しました。わたしのクラスでは、目ひようをきめるときに先生が、

「あいがいっぱいのクラスにしようね。」

と、言っていました。けんかになつたら、はなしあい、ゆるしあいます。そして、たすけあいをすればへいわになると思います。

あいがたくさんクラスのにして、学校にして、おきなわけんにして、日本にして、せかいにしたいです。せかい中のみんなが、ちきゅうのルールをまもって、ずっとへいわなちきゅうにしたいです。